

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月31日

計画の名称	都市基盤整備による拠点駅周辺の都市機能の拡充（第2期）											
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	横浜市											
計画の目標	市民も日常生活の拠点となる鉄道駅周辺において、市街地開発事業等を実施し、交通ネットワーク拠点にふさわしい道路、駅前広場等の都市基盤施設の整備を行うとともに、地区内のバリアフリー化を図ることで、誰もが使いやすく、安全なまちづくりを推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,115	A	4,115	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28		R2
1	拠点駅周辺における都市計画道路と駅前広場の一体的整備による、駅利用者の移動時間の短縮			
	拠点駅周辺における市街地開発事業の実施に伴う、都市計画道路と駅前広場の一体的な整備による都市基盤機能の強化を評価するため、駅利用者の移動時間を従前と従後で比較し、短縮された割合を算出する。	0%	%	18%
2	拠点駅周辺における自転車駐車場整備による違法駐輪台数の減少			
	自転車駐車場を整備することにより拠点駅周辺空間の改善を評価するため、駅周辺における違法駐輪禁止区域の違法駐輪台数の減少を整備前と整備後で比較する。	340台	台	0台

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	新綱島駅自転車駐車場整備事業	自転車駐車場約1,000台	横浜市						47	-		
	A01-002	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	区画	改築	二ツ橋北部三ツ境下草柳線等沿道地区第1期地区(都)三ツ境下草柳線)	L=383m, L=200m	横浜市						821	-		
	A01-003	街路	一般	横浜市	間接	市街地再開発組合	-	改築	大船駅北第二地区((都)下永谷大船線)	L=190m、自転車駐車場約1600台	横浜市						2,810	-		
			種別1再開発																	
	A01-004	街路	一般	横浜市	間接	市街地再開発組合	-	改築	瀬谷駅南口第1地区((都)瀬谷駅南口線)	L=120m	横浜市							395	-	
			種別1再開発																	
	A01-005	街路	一般	横浜市	間接	組合	-	改築	中山駅南口地区((都)中山駅南口線)	L=150m	横浜市							42	2.34	-
			種別1再開発																	
												小計						4,115		
												合計						4,115		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を実施	令和4年度末
	公表の方法
	横浜市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	【大船駅北第二地区（（都）下永谷大船線）】 事業の完成により、駅利用者の移動時間が短縮された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	【大船駅北第二地区（（都）下永谷大船線）】 事業の完成により、駅前広場の拡張などの公共施設が整備されたことで駅前空間としての安全性・利便性が大きく向上した。
特記事項（今後の方針等）	
<p>【学識経験者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大船駅の電車 - バス間移動の利便性や安全性が向上した点を評価します。 ・利用者の移動については、距離だけでなく、上下移動や信号といった要素も踏まえてどう改善されたのかが重要。レイアウトなど利用者にとってのわかりやすさの面も今後の開発の際は考慮してほしい。 <p>【今後の方針】</p> <p>未完了の事業について、引続き次期計画において実施し、事業完了後に事後評価を行う。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	駅利用者の移動時間の短縮（（従前 - 従後） / 従前）	
	最終目標値	18%
	最終実績値	28%
2	【大船駅北第二地区（（都）下永谷大船線）】駅前広場の計画が変更になったことにより、バスの乗車場等が変わり、当初の計画以上に移動時間を短縮できた。	
	最終目標値	0台
	最終実績値	台
	【新綱島駅自転車駐車場整備事業】事業未完了のため、次期計画において達成状況を確認	
	最終目標値	0台
	最終実績値	台
	最終目標値	
	最終実績値	
	最終目標値	
	最終実績値	